

TDMA 方式サイトダイバーシティ切替装置

14/11GHz 帯の電波の降雨減衰の影響を軽減する方式には、サイトダイバーシティと送信電力制御の 2 方式があるが、1975 年（昭和 50）、サイトダイバーシティ切り替え方式に関する研究をインテルサットから受託し、TDMA 方式を対象とした切替装置を 78 年に開発した。さらに、この開発を土台に、インテルサット TDMA 方式に適用可能なサイトダイバーシティ切替装置を試作し、サイトダイバーシティ方式開発の一環として 82 年に衛星実験を実施した。この実験を通じ、切り替え時のバースト同期、ダイバーシティ切替制御方式などの技術が確立された。

出典：KDD 社史